

第2期中野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

子ども・子育て支援事業計画については、子ども・子育て支援給付に係る支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、計画に定める量の見込みと大きく乖離する場合などにおいては、適切な基盤整備や事業の実施を行うため、計画期間の中間年を目安として、必要に応じて本計画の見直しを行うこととされています。

※令和3年4月1日時点の支給認定ごとの子どもの「実績値」と計画における「量の見込み」が、10%以上乖離している場合

一部 10%以上乖離しているものの、全体的に大きく乖離している状況ではなく、提供体制が確保できていることから、計画の見直しを行わないこととします。

「実績値」と「量の見込み」との比較

(1) 教育・保育事業

① 1号認定

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
量の見込み	158	154	150	150	147
実績	162	171			
実績/見込	102%	111%			

② 2号認定

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
量の見込み	850	830	810	805	790
実績	842	814			
実績/見込	99%	98%			

③ 3号認定 0歳児

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
量の見込み	77	75	73	72	70
実績	61	59			
実績/見込	79%	79%			

3号 1・2歳児

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
量の見込み	389	383	376	367	359
実績	391	372			
実績/見込	101%	97%			